

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(三軸粘性ダンパ)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		会合資料番号	図書種別、図書番号	図書名称	該当頁					
1	2022/9/1	資料1-3-2	審査会合資料	工事計画認可申請(補正)に係る論点整理	—	三軸粘性ダンパを設置した配管系の地震応答解析手法について、今回採用したモード座標系における運動方程式に対して時刻歴応答解析を実施する手法及びそれ以外の解析手法のメリットやデメリットを整理した上、解析手法の選定理由を補足説明資料に記載すること。	今回回答	配管系の主な解析手法に関して、三軸粘性ダンパを設置した配管系への適用性を運動方程式、評価手法、配管系の減衰の観点から纏め、モーダル座標系における運動方程式に対して時刻歴応答解析を実施する手法を選定した理由を追記しました。	NS2-補-027-10-62改02「配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針」P.28.29	主な説明事項【1-6】

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(三軸粘性ダンパ)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/3/9	NS2-補-027-10-29	補足説明資料	主蒸気管の弾性設計用地震動Sdでの耐震評価について	P.0	耐震Bクラスの主蒸気管に、耐震Sクラスの許容応力状態であるIVASを設定している考え方を説明すること。	2022/7/4	弾性設計用地震動Sdで破損しないことの検討にあたって考慮する許容応力状態は、JEAG4601・補-1984に規定の通り許容応力状態IVASを適用している旨を追記しました。	NS2-補-027-10-29改01「主蒸気管の弾性設計用地震動Sdでの耐震評価について」P.2,4	
2	2022/3/9	NS2-補-027-10-29	補足説明資料	主蒸気管の弾性設計用地震動Sdでの耐震評価について	P.5,6	主蒸気管の支持構造物の許容応力について、耐震クラス、許容応力状態等を明確にした上で、設定の考え方を説明すること。	2022/7/4	耐震クラス、許容応力状態等を明確にし、JEAG4601・補-1984に規定の通り許容応力状態IVASを適用している旨を追記しました。	NS2-補-027-10-29改01「主蒸気管の弾性設計用地震動Sdでの耐震評価について」P.5～9	
3	2022/3/9	NS2-補-027-10-62	補足説明資料	配管系に設置する三軸粘性ダンパの概要及び設計方針	P.69	三軸粘性ダンパによって配管系に付与される減衰に対応した減衰マトリクス[CD]について、その設定方法を説明すること。	2022/8/5	三軸粘性ダンパを考慮した場合の減衰マトリクスについて、Maxwellモデルを組み込んだ3自由度系の配管モデルを例に運動方程式及びマトリクスを記載し、設定方法を明確にしました。	NS2-他-071改05「補足説明(島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正))に係る論点整理(について)」P.88～90(通し頁P.94～96)	
4	2022/3/14	NS2-補-027-10-29	補足説明資料	主蒸気管の弾性設計用地震動Sdでの耐震評価について	P.6	三軸粘性ダンパに発生する変位について、許容変位内に収まることを説明すること。	2022/7/4	三軸粘性ダンパの評価について、荷重、地震変位振幅、累積消費エネルギーの評価結果を示しました。	NS2-補-027-10-29改01「主蒸気管の弾性設計用地震動Sdでの耐震評価について」P.7,8	
5	2022/3/14	NS2-補-027-10-62	補足説明資料	配管系に設置する三軸粘性ダンパの概要及び設計方針	P.17	三軸粘性ダンパの許容荷重について、メーカーの仕様値、各部材の強度評価結果及び試験結果を踏まえ、その設定方法を説明すること。	2022/7/4	三軸粘性ダンパの許容限界について、考え方を明確にするとともに、評価する項目、評価方法、確認指標及び許容限界について記載しました。また、強度評価の詳細については、VI-2-1-12「配管及び支持構造物の耐震計算について」に記載しており、当該図書を呼び込みました。	NS2-補-027-10-62改01「配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針」P.30,31	
6	2022/3/14	NS2-補-027-10-62	補足説明資料	配管系に設置する三軸粘性ダンパの概要及び設計方針	P.83,84	多入力の時刻歴応答解析の適用について、運動方程式における外力項として、基準入力点の絶対加速度のほか、基準入力点に対する入力点の相対変位及び相対速度があると説明しているが、主蒸気配管の評価条件には、相対変位及び相対速度が示されていないため、両者の関係を説明すること。	2022/7/4	多入力の時刻歴解析における入力について記載を追加しました。なお、入力は時刻歴応答であり、時刻歴応答はNS2-補-027-10-29「主蒸気管の弾性設計用地震動Sdでの耐震評価について」の図4に記載しています。	NS2-補-027-10-62改01「配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針」P.91 NS2-補-027-10-29「主蒸気管の弾性設計用地震動Sdでの耐震評価について」P.21	
7	2022/7/4	NS2-補-027-10-62改01	補足説明資料	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.15,62	制震装置の設計について、適用している基準、島根2号機の評価の妥当性に関して記載を拡充して説明すること。	2022/8/5	制震装置の適用規格値について整理し、三軸粘性ダンパを設置した配管系の適用規格及び適用範囲を明確にしました。	NS2-他-071改05「補足説明(島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正))に係る論点整理(について)」P.16(通し頁P.22)	
8	2022/7/4	NS2-補-027-10-62改01	補足説明資料	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	—	ダンパに設置されている断熱板の設置理由及び効果を説明すること。	2022/8/5	三軸粘性ダンパは、減衰性能を取得した性能試験の最高温度(100℃)以下となるよう、適切な大きさの断熱板及び放熱板をクランプ又はラグと三軸粘性ダンパの間に設置しており、断熱材は三軸粘性ダンパ(鋼材部)や配管を構成する材質の熱伝導率と比較し、高い断熱性を有し、放熱板は高い放熱性を有する構造としています。この内容が分かるように、資料に記載しました。	NS2-他-071改05「補足説明(島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正))に係る論点整理(について)」P.36,38,39(通し頁P.42,44,45)	
9	2022/7/4	NS2-補-027-10-29改01	補足説明資料	主蒸気管の弾性設計用地震動Sdでの耐震評価について	P.5	地震動の入力等の解析ケースの考え方を含めて記載して説明すること。	2022/8/5	三軸粘性ダンパの減衰性能の上限及び下限について、弾性設計用地震動Sd-1、Sd-D、Sd-F1、Sd-F2、Sd-N1、Sd-N2に対し評価を実施し、最も厳しい評価となるSd-1については、三軸粘性ダンパの減衰性能の上限及び下限に加えて、上限と下限より均等に内挿した3つの減衰性能についても評価しています。この内容が分かるように、資料に記載しました。	NS2-他-071改05「補足説明(島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正))に係る論点整理(について)」P.5(通し頁P.119)	
10	2022/8/5	NS2-他-067改05	論点整理	島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正)に係る論点整理(について)＜機電関係＞	P.4	三軸粘性ダンパの設置理由、特徴(熱膨張は拘束しない等)について説明すること。また、図1のSd機能維持とする理由を説明すること。	2022/8/22	・三軸粘性ダンパの設置により地震応答を低減することを設置目的としており、また、三軸粘性ダンパは熱膨張は拘束しない等の特徴を有しています。 ・外側主蒸気隔離弁から主蒸気止め弁までの範囲は、JEAG4601に基づき、弾性設計用地震動Sdに対して破損しないことの検討を行うこととしている旨の説明を追加しました。	NS2-他-067改07「島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正)」に係る論点整理(について)」P.4～6,14	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
11	2022/8/5	NS2-他-067改 05	論点整理	島根原子力発電所第2号機 工事計画認可申請(補正)に 係る論点整理について<機 電関係>	P.7	機能維持評価の許容値について、減衰性能を 取得した性能試験条件の範囲内であるとしてい るが、その試験内容について説明すること。	2022/8/22	機能維持評価の許容値に設定している三軸粘性ダンバの性能試験(加振試験)条件は、 実機使用で想定される最大加振振幅、最大累積消費エネルギーをもとに設定していま す。このことが分かるように資料に追記するとともに、試験内容が分かるように資料を拡充 しました。	NS2-他-067改07「島根原子力発電所第2号 機 工事計画認可申請(補正)に係る論点整 理について」P.12,17,18	
12	2022/8/22	NS2-他-071改 07	その他(論点整 理・補足説明)	補足説明(島根原子力発電 所第2号機 工事計画認可 申請(補正)に係る論点整理 について)<機電関係>	P.46	温度の計算結果について、補足説明資料にて説 明すること。	今回回答	実機環境下における三軸粘性ダンバの伝熱解析を行い、性能試験の最高温度である 100℃以内に概ね収まることを確認しました。なお、100℃を超過する箇所がありますが、 局所的であり、減衰性能に影響する領域ではないことを確認しました。また、性能試験に おいては粘性体全体が100℃となる状態で試験をしていることに対し、伝熱解析結果では 平均温度は約90℃となり、今回取得した減衰性能は、実機環境下で適用できることを確 認しました。	NS2-補-027-10-62改02「配管系に設置する 三軸粘性ダンバの設計方針」P.112~115	
13	2022/9/5	NS2-他-071改 07	論点整理(補足 説明)	補足説明(島根原子力発電 所第2号機 工事計画認可申 請(補正)に係る論点整理に ついて)	P.92	三軸粘性ダンバを設置した配管系の地震応答 解析手法において設定した積分時間間隔につい て、その妥当性を説明すること。	今回回答	採用している数値積分法である3点法は着目する固有周期の1/20程度の時間刻み幅と することで精度良く解析できるとされており、時間刻み幅は剛柔判定のしきい値(0.05s)の 1/20よりも十分小さな0.001sとしています。	NS2-補-027-10-29改02「主蒸気管の弾性設 計用地震動Sdでの耐震評価について」P.6	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(三軸粘性ダンパ)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～127については、NS2-他-068改03で整理済みのため省略。						
128	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	目次	修正事項に伴い、ページやタイトルに変更が生じたため、目次を修正しました。	2023/1/10	
129	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	目次	目次の項目タイトルが本文中の項目タイトルと整合するよう修正しました。(下線部参照) (旧)5.1 設工認において適用実績のある制震装置との比較結果 5.2 海外の原子プラントにおいて実績のある耐震評価方法との比較結果 (新)5.1 既工認において適用実績のある制震装置との比較結果 5.2 海外の原子力プラントにおいて実績のある耐震評価方法との比較結果	2023/1/10	
130	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.1	より分かりやすい文章にするため、文章の構成を見直しました。(下線部参照) (旧)島根2号機において、Bクラスの配管系に耐震性向上を目的として制震装置を設置する。 大きな地震力が作用する機器・配管系に対して、耐震構造による補強では設計及び施工が困難となる場合、制震装置の設置により地震応答を低減することは有効な耐震補強の手法のひとつである。 (新)大きな地震力が作用する機器・配管系に対して、耐震構造による補強では設計及び施工が困難となる場合、制震装置の設置により地震応答を低減することは有効な耐震補強の手法のひとつである。島根2号機においては、Bクラスの配管系に耐震性向上を目的として制震装置を設置する。	2023/1/10	
131	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.1	記載内容に合わせて2.1項のタイトルを見直しました。 (旧)要求事項 (新)採用目的及び選定理由	2023/1/10	
132	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.4	表2-2について、それぞれのダンパの参考文献を追記しました。	2023/1/10	
133	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.4	表2-2について、鉛ダンパの抵抗力の特性の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)抵抗力は鉛の期剛性、二次剛性で決まる。 (新)抵抗力は鉛の初期剛性、二次剛性で決まる。	2023/1/10	
134	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.6	粘性体について、シリコン系のポリマーを使用していることを明記しました。	2023/1/10	
135	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.7	図2-3について、粘性体に関する図示を粘性体液位から粘性体に修正しました。	2023/1/10	
136	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.12	注記*1について、図番号の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)番号は図2-7の耐震設計フローの番号に対応している。 (新)番号は図2-5の耐震設計フローの番号に対応している。	2023/1/10	
137	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.17	項目のタイトルの誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)3_耐震評価方針 (新)3_耐震評価方針	2023/1/10	
138	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.17	整理という言葉を明確にしました。(下線部参照) (旧)2.3にて整理した三軸粘性ダンパ (新)2.3項で示した三軸粘性ダンパ	2023/1/10	
139	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.17	より正確な文章に見直しました。(下線部参照) (旧)配管系の変位が大きくなり、設置が可能な箇所に設置する。 (新)配管系の変位が大きく、かつ設置が可能な箇所に設置する。	2023/1/10	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
140	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.19	より正確な文章に見直しました。(下線部参照) (旧)三軸粘性ダンパを支持する構造物の設計においては上限の減衰性能に基づく最大荷重を適用するためである。 (新)三軸粘性ダンパを支持する構造物への荷重は、減衰性能が高いほど大きくなる傾向であるためである。	2023/1/10	
141	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.27	表3-5について、型式325/159の解析緒言を追記すると共に、型式630/426の丸め方を統一しました。	2023/1/10	
142	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.28	より正確な文章に見直しました。(下線部参照) (旧)地震応答解析手法としてスペクトルモーダル解析は適用できず (新)地震応答解析手法として実固有値を用いた一般的なスペクトルモーダル解析は適用できず	2023/1/10	
143	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.28,95,99	添付資料3-7及び3-8の番号を記載順に見直しました。	2023/1/10	
144	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.30	より正確な文章に見直しました。(下線部参照) (旧)地盤物性等の不確かさによる固有周期の変動 (新)地盤物性等の不確かさによる建物等の固有周期の変動	2023/1/10	
145	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.33,34	表3-6について、表番号が重複していたため修正しました。この修正に伴い、以降の表番号も修正しました。	2023/1/10	
146	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.33	より正確な文章とするため、不要な記載を削除しました。(下線部参照) (旧)三軸粘性ダンパの使用荷重の有する裕度 (新)三軸粘性ダンパの使用荷重	2023/1/10	
147	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.34	より正確な文章とするため、不要な記載を削除しました。(下線部参照) (旧)許容限界は、JEAG4601等に基づき設定することを基本とする。 (新)許容限界は、JEAG4601等に基づき設定する。	2023/1/10	
148	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.35	より正確な文章とするため、不要な記載を削除・修正しました。(下線部参照) (旧)管及び支持構造物は十分な裕度をもって健全性が確保されることを確認した。 (新)管及び支持構造物が健全であることを確認した。	2023/1/10	
149	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.35	整理という言葉を明確にしました。(下線部参照) (旧)機器・配管系への適用性や減衰性能への影響の観点から検討を要する項目を表5-1に整理した。 (新)機器・配管系への適用性や減衰性能への影響の観点から検討を要する項目を表5-1に示す。	2023/1/10	
150	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.35	整理という言葉を明確にしました。(下線部参照) (旧)整理の結果 (新)検討の結果	2023/1/10	
151	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.35	より正確な文章とするため、不要な記載を削除しました。(下線部参照) (旧)表5-1 適用実績のある制震装置との差異の整理 (新)表5-1 適用実績のある制震装置との差異	2023/1/10	
152	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.44	整理という言葉を明確にしました。(下線部参照) (旧)種別ごとの構造特徴及び性能特性を整理し、三軸粘性ダンパを選択した。 (新)種別ごとの構造特徴及び性能特性を検討し、三軸粘性ダンパを選択した。	2023/1/10	
153	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.44	以下の記載が不要であることから、削除しました。 (旧)したがって、三軸粘性ダンパのモデル化は妥当であり、減衰性能の変動及びばらつきを適切に考慮していることから、地震応答解析手法として妥当と考える。 (新)削除	2023/1/10	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
154	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.45,67,100	文章と表を分け、文章の用紙の向きを縦にしました。	2023/1/10	
155	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.46	表2-1-1について、参照している図書番号の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)三軸粘性ダンパが図示(Figure NF-1132-1:図2-3-1参照)されている。 (新)三軸粘性ダンパが図示(Figure NF-1132-1:図2-1-1参照)されている。	2023/1/10	
156	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.46	表2-1-1について、参照している図書番号の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)三軸粘性ダンパが図示(Figure NF-1214-1:図2-3-1参照)されている。 (新)三軸粘性ダンパが図示(Figure NF-1214-1:図2-1-1参照)されている。	2023/1/10	
157	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.63	式(5)の文字を大きくしました。	2023/1/10	
158	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.66	図3-1-3について、誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)ダッシュポットの減衰係 (新)ダッシュポットの減衰係数	2023/1/10	
159	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.67	整理という言葉を明確にしました。(下線部参照) (旧)参照して表3-2-1に整理した。 (新)参照して表3-2-1に示す。	2023/1/10	
160	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.67	整理という言葉を明確にしました。(下線部参照) (旧)減衰性能への影響の検討要否を表3-2-2に整理した。 (新)減衰性能への影響の検討要否を表3-2-2に示す。	2023/1/10	
161	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.71	項目、内容及び記載箇所について具体的な説明を追記しました。	2023/1/10	
162	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.79	図書番号の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)試験結果を図3-6-6に示す。図3-6-6のとおり、… (新)試験結果を図3-3-6に示す。図3-3-6のとおり、…	2023/1/10	
163	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.82	図書番号の接続詞を修正しました。(下線部参照) (旧)試験結果を図3-4-1～図3-4-2に示す。 (新)試験結果を図3-4-1及び図3-4-2に示す。	2023/1/10	
164	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.82	整理という言葉を明確にしました。(下線部参照) (旧)試験により把握した初期変位による減衰性能への影響を表3-4-2に整理する。 (新)試験により把握した初期変位による減衰性能への影響を表3-4-2に示す。	2023/1/10	
165	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.83	図3-4-1及び図3-4-2について、減衰性能の方向が分かるように縦軸に鉛直・水平を追記しました。	2023/1/10	
166	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.85	表3-5-1について、型式630/426のパラメータを追記しました。	2023/1/10	
167	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.90	より正確な文章に見直しました。(下線部参照) (旧)大きな値となり対角化できないため、上記のスペクトルモーダル解析は適用できない。 (新)大きな値となり対角化できないため、一般的に用いられるスペクトルモーダル解析は適用できない。	2023/1/10	
168	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.91	一般的な配管系で減衰マトリクスが対角化できる理由と三軸粘性ダンパの減衰マトリクスが対角化できない理由を追記しました。	2023/1/10	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
169	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.91	二次応力の算出方法を以下のとおり追記しました。 ・なお、式(10)を解くと慣性力成分(一次応力)及び相対変位成分(二次応力)を含む解が算出される。配管系における評価では、一次応力と一次+二次応力をそれぞれ評価する必要があるため、一次応力は、式(10)を解く際に質量マトリクスをゼロマトリクスとすることで、慣性力成分を除去した相対変位成分のみを算出し、式(10)の解から差をとることで一次応力を算出する。	2023/1/10	
170	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.96	図番号の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)図3-8-1 (新)図3-7-1	2023/1/10	
171	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.97	不要な整理という言葉削除しました。(下線部参照) (旧)基準とする支持点1に関する項を右辺に移項して整理すると、 (新)基準とする支持点1に関する項を右辺に移項すると、	2023/1/10	
172	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.99	表番号の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)表3-7-1 (新)表3-8-1	2023/1/10	
173	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.99	表番号の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)表3-7-2 (新)表3-8-2	2023/1/10	
174	NS2-補-027-10-62改02	配管系に設置する三軸粘性ダンパの設計方針	P.100	免振ガイドに関する検討結果を以下のとおり追記しました。 なお、その他の知見として、「建物・構築物の免震構造に関する審査ガイド(令和4年2月)原子力規制委員会」(以下「免震審査ガイド」という。)の免震装置に関する記載についても確認した。その結果、「免震審査ガイド」は建物全体を免震構造とした施設を適用範囲としていること、及び「免震審査ガイド」に基づく検討項目は「工認審査ガイド」において包絡されることを確認した。そのため、工認審査ガイドに基づき確認を実施する。	2023/1/10	
175	NS2-補-027-10-29改02	主蒸気管の弾性設計用地震動Sdでの耐震評価について	まえがき,P.5.24	より正確な文章に見直しました。(下線部参照) (旧)地盤物性等の不確かさによる固有周期の変動 (新)地盤物性等の不確かさによる建物等の固有周期の変動	2023/1/10	
176	NS2-補-027-10-29改02	主蒸気管の弾性設計用地震動Sdでの耐震評価について	P.1	整理という言葉が明確になりました。(下線部参照) (旧)検討した内容が整理されている。 (新)検討した内容が示されている。	2023/1/10	
177	NS2-補-027-10-29改02	主蒸気管の弾性設計用地震動Sdでの耐震評価について	P.5.10	概略系統図を追記しました。また、追記に伴い、図番号を適正化しました。	2023/1/10	
178	NS2-補-027-10-29改02	主蒸気管の弾性設計用地震動Sdでの耐震評価について	P.27	資料の位置づけをより分かりやすくしました。(下線部参照) (旧)本資料では、三軸粘性ダンパの設置による主蒸気管の振動性状の変化の傾向を示すため (新)本資料では、モーダル時刻歴解析結果と直接の関係はないが、三軸粘性ダンパの設置による主蒸気管の振動性状の変化の傾向を示すため	2023/1/10	
179	NS2-補-027-10-29改02	主蒸気管の弾性設計用地震動Sdでの耐震評価について	P.28	表1について、参照先の誤記を修正しました。	2023/1/10	